

令和 5 年度 事業報告書

＝ 誰もが安心して暮らすことができる 福祉のまちづくり ＝



社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会

□□□ も く じ □□□

◎ 事 業 概 要	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
◎ 事 業 報 告	・・・・・・・・・・・・・・・・	2

令和 5 年度 事業報告

《 概 要 》

- 人口減少や少子高齢化、単身・高齢者世帯の増加傾向が続き、また、厳しい経済情勢による雇用や生活不安などを要因とする生活困窮や子どもの貧困、自死、ひきこもりなど、地域生活課題は深刻化・複雑化している。加えて、物価の高騰は住民の暮らしに大きな影響を与えている。そうした中、国では、誰もがより長く元気に活躍できる社会の実現を目指し、「地域共生社会」の実現に向けた取り組みによる「重層的支援体制整備事業」の推進や、こどもや子育て世代に対する包括的支援を行うことを目的とした「こども家庭庁」の設置等により、地域住民が誰一人取り残されることなく相談支援が受けられるような体制が必要とされている。
- 本会、第 4 次地域福祉活動計画では、『安心して住み続けることができる「我が家」のような地域づくり』を目標に掲げ、今まで展開してきたゆるやかな見守り・つながり・ささえ合い活動が地域に根付くよう、地区社協・まちづくりセンター・まちづくり委員会等とも連携しながら、ゆるやかな見守りネットワークの構築に取り組んでいる。
- 新型コロナウイルス特例貸付は終了し、返済が順次始まっている。償還免除となった方や返済の滞っている方へのフォローアップを行う中、物価高騰の影響もあり今なお経済的に苦しい状況にある方も多く、本会独自の貸付や食糧支援も継続して行っている。相談者の多くが背景に障がい等があり関係機関と密に連携し支援を行っているが、令和 5 年度から中高年ひきこもり支援事業を受託したことで、これまで関りの少なかった分野への働きかけや専門機関との連携も図れるようになってきた。より包括的な支援が行えるよう体制づくりに取り組む必要がある。
- 厳しい経営状況が続く介護保険等事業は、介護福祉部会において今後の介護保険事業の方向性を検討し、令和 5 年度末をもって 2 つの事業廃止を決定としたことで、市への報告と利用者・家族等への丁寧な説明を行った。その後、野原デイサービス事業は休止とし、他法人への事業委託を検討すること、そして、市内唯一の事業である訪問入浴介護事業は、市民や居宅介護支援事業所の強い要望を受け、職員体制を確保し市からの支援を受けることで事業継続を判断した。しかしながら、慢性的な人材不足が続いていること、令和 6 年度の制度改革による訪問系の報酬減額改定など、赤字解消に向けては多くの課題を抱えている。社協が介護保険事業を実施する意義を改めて考え、持続可能な事業展開を目指し、事業運営の要となる非正規職員の人材確保を第一に賃上げへの早期対応を進めていかなければならない。
- 受託 2 年目の地域包括支援センターでは、本来 12 名体制とすべきところ、人材確保の困難さから 1 名欠員の状態が続いた。次年度に向けて早期に体制を整えることを目標に掲げると同時に、業務の効率化・負担の軽減を図りながら、それぞれの職種の力がさらに発揮できるよう職員間の連携を深め、引き続き個別相談支援に丁寧に対応し、職員一人ひとりがしっかりと地域課題を把握しながら、支援のネットワークを広げていくことなど、包括支援センターとして広義の目的達成に向けた取り組みに努めていかなければならない。
- 引き続き厳しい財政状況の中で、昨年度策定した「経営等改善計画」に基づき、会費の増収、職員採用の検討、基金取崩抑制を項目として掲げ、その他事業等の見直しについても職員間で協議を行い、対応できることは早急に取り組み、それ以外は次年度以降に反映できるように努めてきた。しかし、会費は前年度と比較して減少しており、職員採用も早期退職があったことで計画を前倒して募集を行ったが、専門職については必要数の確保には至っていない状況である。福祉基金取崩も野原デイサービスセンター休止の影響で増額補正を行ったが、想定よりは抑えられた状況で、今後検証を踏まえ、見直し等含めながら効率的な改善策に取り組んでいく。法人運営においては、住民にとって安心して信頼できる組織として認識できるように健全で誠実な取り組みを示しつつ、役職員一丸となって本会の事業を含めた状況を見（魅）せていく。

以上、概要を報告し、次により事業内容について報告する。

《 重点目標 》

1. 安心、支えあい、つながり合う地域づくりの推進
2. 一人を丸ごとで支え、断らない寄り添う支援体制づくり
3. 本人に寄り添い、自立に向けて地域と連携した介護サービスの展開
4. 頑張る人や地域を支え続ける支所であること
5. 総合力強化のための組織の体制強化

1. 地域福祉推進に向けた取り組み

第4次地域福祉活動計画

地域福祉ビジョン

「安心して住み続けることができる『我が家』のような地域づくり」

～5年後、10年後も安心の「我が家」のような地域づくりを進めよう～

令和4年度3月に策定した第4次地域福祉活動計画は、誰一人取り残さない社会の実現のため、安心して住み続けることができる『我が家』のような地域づくりを目指す計画としました。

今まで地道に築いてきた地域との関係性を大切に、住民・地域・企業・団体・専門職等が寄り添いつながる存在となれるよう、連携しながら取り組みを進めています。

また、子ども・高齢者・障がい者問わずすべての人々が役割をもち、困ったときはおたがいさま、見守り・見守られる関係性の強化に努めています。

(1) 第4次地域福祉活動計画の実行（1年目）

①支え合いの地域づくり推進のためのあらゆる取り組みを推進

- *見守りネットワークの合意形成
- *集いの場の充実
- *支え合い活動支援・充実
- *大人の福祉教育の推進
- *福祉委員活動の推進強化
- *ボランティア登録の推進
- *民生児童委員・福祉委員の連携の促進
- *災害ボランティア活動の体制整備
- *地域における地区社協活動の支援
- *地域と専門職の連携促進
- *法人連携による地域支援促進
- 他

②ゆるやかな見守り・つながり・支え合いの推進

③小地域福祉活動計画策定に向けた支援（未策定地区への策定支援）

④相談窓口の充実と他機関との連携による支援



第4次地域福祉活動計画

活動目標5 「地区社会福祉協議会の役割の再構築」

自分たちの地域の生活・福祉課題や困りごとを自分たち自身の問題と受け止め、関係機関や専門機関などと連携しながら、解決に向けて協議できる場を設け、一緒に考え実行していくためにも、住民主体の活動組織である地区社協の存在は欠かせません。

現在、まちづくりセンターを拠点とした協働のまちづくりの取り組みが推進され、地区まちづくり推進委員会の組織化及び活性化に向け取り組まれています。地区社協においては、福祉部門としてまちづくり推進委員会と一緒に事業展開しているところもあります。このように地区まちづくり推進委員会との連携及び、福祉委員・民生児童委員といった協力関係

にある支援者との連携を強化していくことも必要です。

住民が無理なくかつ自主的に福祉活動の取り組みが推進できるよう支え合いの意識醸成に努めながら支援しています。



(2) 地区社協活動支援

①社協・地区社協連携会議の開催

ア) 地区社協合同研修会の開催 (全市)

8/8 (火) 28 地区社協会長他 (民生児童委員含む) 69 名

* 講義「浜田市における防災活動の状況と地域住民の連携について」

* 演習「HUG」避難所運営ゲーム 講師 浜田市防災安全課 松島 芳弘 氏

イ) 地区社協会長・事務局長等会議の開催 (各支所)

【浜田】第1回 7/4 (火) 11名出席 第2回 1/30 (火) 11名出席

【金城】6/21 (水) 11名出席 【旭】4/19 (水) 9名出席 【三隅】5/15 (月) 14名出席

②地区社協活動推進助成金の交付 (助成総額 28 地区 6,189,346 円)

(3) 福祉委員活動支援

①福祉委員連絡会・研修会・民生児童委員との連絡会等の開催

ア) 浜田・旭・三隅福祉圏…各地区で開催

【浜田】 6 地区開催 292 名出席 (民生児童委員・地区社協役員含む)

【旭】 5 地区開催 59 名出席 (民生児童委員・地区社協役員含む)

【三隅】 5 地区開催 69 名出席 (民生児童委員・地区社協役員含む)

イ) 金城・弥栄福祉圏…合同開催

【金城】4/23 (日) 73 名出席 (民生児童委員・地区社協役員含む)

12/10 (日) 68 名出席 (民生児童委員含む)

【弥栄】5/23 (火) 22 名出席 (民生児童委員含む)

ウ) 第3層圏域での民生委員福祉委員連絡会開催に

向けた調整と地域への働きかけ

浜田福祉圏：石見地区 (石見小・三階小学校区)

長浜地区 (長浜・熱田地区)

旭・三隅福祉圏：地区社協エリア実施 (再掲)

※ 浜田福祉圏：小学校区・まちづくり・町内会・自治会エリア

金城・旭・弥栄・三隅福祉圏：地区社協・まちづくりセンターエリア



②福祉委員活動支援

ア) ボランティア活動保険加入 (全市：特定感染症重点プラン)

イ) 積極的な情報提供と情報共有 (職員や民生児童委員と顔が見える関係づくり)

ウ) 選出地域 (町内会・集落自治会等) への福祉委員設置目的等の周知及び柔軟な対応

(4) 地域福祉活動推進助成事業

①助成件数 12 団体 (内新規申請 5 団体)

②交 付 額 700,000 円 (50,000 円×10 団体、先駆的 100,000 円×2 団体)

(5) 高齢者サロン立ち上げ支援助成事業（1団体上限 30,000 円）

①助成件数 8 団体

②交 付 額 240,000 円

2. ボランティア活動と福祉教育の推進

第4次地域福祉活動計画

活動目標4 「浜田市ボランティアセンターの機能を強化する」

市民一人ひとりの参画を得るための入り口としてボランティア活動は有効です。

現在の複雑化・複合化している課題に対応できるよう各養成講座を開催し、修了後はボランティア登録を促すとともに、関連事業と連携しながらボランティアセンター機能の強化に向けた取り組みを進めています。また、働き世代の人にもボランティア活動を身近に感じてもらうため、企業や団体組織などにも「見守り」や「生活支援」、「災害に備えた地域づくり」等、あらゆる視点での取り組みを進めます。

(1) ボランティアセンター事業の推進

①ボランティアセンター運営委員会の開催（各支所）

【本所・浜田】 第1回 8/28（月）14名出席 第2回 3/22（金）9名出席

【金城】 2/6（火）8名出席 【旭】 1/25（木）10名出席

【弥栄】 3/14（木）8名出席 【三隅】 3/15（金）8名出席

②住民参加型有償ボランティア制度の利用促進（金城・旭・弥栄）

【金城】活動件数 15件 延べ16名活動

【旭】活動件数 21件 延べ154名活動

【弥栄】活動件数 34件 延べ108名活動（シルバー88件、241名）

*主な活動：掃除、草刈り・草取り、通院介助、話し相手等

③ボランティア人材育成・養成の推進

ア)【本所】災害ボランティア養成講座8/8（火）69名（再掲）

イ)【本所】あいサポーター養成講座9/21（木）18名

ウ)【本所】認知症サポーター養成講座10/24（火）17名

【弥栄】認知症サポーター養成講座11/25（土）24名

オ)【旭】ボランティア人材育成研修会1/25（木）27名

「みんなで一緒に笑いましょう!!魅力あるサロンづくり」

グッド・リバー・カンパニー介護予防インストラクター 吉川 優子 氏

カ) 高齢者サロンボランティアリーダー研修

【金城】わいわいガヤガヤサロンのつどい 10/1（日）40名

「人生100年これからゲーム！」

講師 映画「折り梅」原作者 傾聴ボランティア「とよあけ」代表 小菅もと子 氏



【三隅】サロンリーダー研修会&交流会 2/27（火）12名

「笑顔は幸せ行きのパスポート ～幸せを呼ぶ笑顔の力～」

講師 Office RASHICU 代表 河上 恵美 氏

キ）夏休み子どもボランティア講座（本所・旭・三隅）（児童青少年健全育成兼ねる）



④シニア応援隊事業の推進（本所）

* サマーボランティアスクールへの協力 8/1（火）

* 第1回ミーティング 9/17（日）

* 浜田市健康福祉フェスティバルにおいて「シニアレストラン」開店 10/15（日）

カレーライス、コーヒーの販売 収益金は6年度の講演会経費に充てる

* 第2回ミーティング 1/25（木）

* 地域のおたすけ隊活動 随時



⑤高齢者サロンへのボランティア活動支援（三隅）2地区 延べ49名

⑥個人・企業ボランティア活動促進・支援事業（全支所）

ア）ボランティア活動支援

【浜田】 個人 11件 延べ13名、団体 8件、延べ59名

【弥栄】 団体 7件

【三隅】 個人6件 延べ10名、団体14件 延べ95名

イ）企業ボランティア活動・社会貢献推進

【全域】フードドライブ（一人一品運動）の寄附

【金城】ポータブルガスエンジン発電機の寄贈

マルキ会山陰地区会石見エリア会



【三隅】三隅建築組合、三隅ガスセンターによる雨樋、排水マスの清掃等 10月

黒沢・井野地区実施

対象：70歳以上一人暮らし宅 22世帯 24か所

⑦ボランティア情報紙の発行と情報発信の強化（各支所）

ア）ボランティア情報紙の発行

【浜田】10月・3月発行 【金城】7月・12月・3月発行

【旭】10月・3月発行 【弥栄】8月・12月・3月発行

【三隅】3月発行



イ）情報提供機能強化

社協だより、ホームページ、Facebook、ブログ、いわみCATV、新聞報道、

他団体情報発信サイト、県社協情報発信サイト「しまそこ」等の活用

（2）災害ボランティアセンター強化事業の推進（平常時の取り組み）

①GIS（地理情報システム）を活用した災害時要支援者台帳の整備

ア）浜田市民生児童委員協議会との協働による台帳の更新

イ）避難行動要支援者の個別支援計画策定促進（専門職との連携）

第4次地域福祉活動計画

活動目標2 「『他人事』を『我が事』にするための福祉教育を進める」

児童生徒に対する福祉教育が、車いす体験や高齢者疑似体験で終わるのではなく、思いやり、支え合いの心、コミュニケーションの大切さに気付く取り組みを進めています。

また、地域福祉を担う人材の育成の視点でも、支え合いや見守りといった「日常生活での小さな心がけ」による取り組みの大切さを意識することで、「こんな地域にしたい」という思いを持つ人のネットワークが広がるように「大人の福祉教育」の取り組みを進めています。

(3) 福祉教育推進事業

①福祉教育の取り組み支援

ア) あいサポーター研修、福祉体験講座、ユニバーサルスポーツ体験等

- 6/12 原井小学校 3年生 35名 あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
- 6/16 浜田東中学校 2年生 44名 あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
- 6/28 松原小学校 3年生 17名 高齢者疑似体験
- 6/28 旭小学校 4年生 14名 車いす体験・手話体験
- 6/29 国府小学校 3年生 49名 あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
- 6/30 浜田東中学校 2年生(1組) 21名 高齢者疑似体験
- 7/6 浜田東中学校 2年生(2組) 22名 高齢者疑似体験
- 7/11 弥栄中学校 全校生徒・地域住民 49名 人権研修・ボッチャ体験交流
- 7/19 浜田養護学校 高等部3年生 7名 高齢者「ゆるやかな見守り」すごろく
- 8/1 全市小学校3～6年生・大人 40名 けん玉、炊き出し、防犯、モルック体験
- 8/3 三隅まちづくり推進委員会 夏休み子ども防災フェスタ(炊き出し)
- 8/10 今市児童クラブ 児童・支援員・民生児童委員 41名 炊き出し、モルック体験
- 8/18 若潮学級(雲雀丘小児童クラブ) 児童・支援員・警察・主任児童委員 15名
交通安全・防犯、ゆるやかな見守りすごろく、緊急連絡カードづくり
- 8/21 旭中学校2年生 15名 高齢者について・福祉施設の体験
- 8/21 雲城児童クラブ 53名 炊き出し・ユニバーサルスポーツ体験
- 8/26 三保まちづくり推進委員会 防災デイキャンプ(炊き出し体験)
- 9/4 れんげ保育園 29名 災害時炊き出し体験
- 9/22 雲城小学校3年生 41名 あいサポ・車いす体験
- 9/28 三階小学校3年生 38名 あいサポ・車いす・ブラインドウォーク
- 10/31 原井小学校 ユニバーサルスポーツ体験交流(ボッチャ・モルック)
特別支援学級・教員・ふるさと先生・まちづくりセンター職員 19名
- 11/2 雲城小学校3年生 37名 さんあい緩和デイ利用者 12名 交流会・合唱発表
- 11/7 原井小学校 ユニバーサルスポーツ体験交流(モルック)
特別支援学級・教員・ふるさと先生・まちづくりセンター職員 16名
- 11/9 夕日ヶ丘聖母幼稚園 赤い羽根共同募金の紙芝居 園児・保育士 33名
- 11/15 浜田養護学校 ブラインドサッカー体験 高等部3年・教員 18名
(講師：島根オロチビート浜田)
- 11/14 旭中学校 介護の基礎的講座 3年生 19名
講義・介護体験(車いす・食事介助)(講師：旭豊福祉会)
- 11/21 浜田養護学校 総合的な学習の時間 中等部3年生・教員 9名
社協の活動についてインタビュー・ゆるやかな見守りすごろく体験
- 12/11 旭小学校 総合的な学習の時間 3年生 19名
手話についての話し・体験、車いす体験
- 12/14 浜田幼稚園 赤い羽根共同募金の紙芝居 園児・保育士 24名

- 12/15 浜田第三中学校 介護の基礎的講座講師 3年生 70名
講義・介護体験（立ち上がり・移乗方法）（講師：愛心会）
- 12/19 金城中学校 介護の基礎的講座 3年生 28名
講義・介護体験（福祉車輦・車いす）（講師：かなぎ福祉会）
- 1/17 リハビリテーションカレッジ 島根 あいサポーター研修 理学療法学科 15名
- 2/14 三隅中学校 車いすバスケットボール体験交流 1年生 40名
（講師：益田市 三光スイーパーズ）
- 2/20 周布小学校 あいサポーター研修・車いす体験 3年生・教員 43名（講師：愛心会）
- 3/15 旭中学校 車いすバスケットボール体験交流 1・2年生 43名
（講師：益田市 三光スイーパーズ）



②保育園・幼稚園・小・中学校へ福祉教育推進助成金の交付

保育園 4園、幼稚園 2園、小学校 13校、中学校 8校（助成総額 962,200 円）

③地区まちづくりセンターを核とした福祉教育推進助成金の交付

（助成総額 571,080 円）（三隅）

④ふくしの学び合い推進事業（県社協助成事業）

地域を基盤に市民一人ひとりのライフステージや生活場面に応じた「ふくしの学び合い」を通して、福祉への関心や心の醸成を図る。

* 介護の基礎的講座実施に向け、講師依頼と内容の調整（老人福祉施設協議会と協働）

- 8/18 若潮学級（雲雀丘小児童クラブ）児童・支援員・警察・主任児童委員
交通安全・防犯、ゆるやかな見守りすごろく、緊急連絡カードづくり（再掲）



⑤大人の福祉教育として「住民座談会」「ふくし出前講座」に動画や漫画、チラシ等活用するなどできるだけ理解しやすいものを作成し、地区社協・まちづくりセンター・ボランティアセンター等と連携しながら推進。

ア) 住民座談会の開催（旭・弥栄）

⑥学校・地区まちづくりセンターとの福祉教育連絡会議開催（三隅）

ア) 小・中学校 5/18（水）各学校訪問 担当教職員 3名

イ) まちづくりセンター 5/11（木）三隅まちづくりセンター センター職員 7名

3. 高齢者支援事業

第4次地域福祉活動計画

活動目標1 「地域で『支えあいのまちづくり』を進める」

集いの場所の拡充や生活支援としての支え合いの仕組みづくりを地域に働きかける取り組みを進めています。今ある社会資源の機能や地域資源を最大限活用し、また現状に合った形に変化させながら地域住民が負担なく取り組めるよう、ゆるやかな見守りからゆるやかなつながりへ、そして支え合いのまちづくりに向け取り組みを進めています。

(1) ゆるやかな「見守りネットワーク」「支え合い活動」の取り組み

- ①緊急連絡カードの整備事業（浜田支所：新規）
- ②集いの場の拡充
- ③ゆるやかな見守り・つながり・支え合いの地域に向けた意識醸成
- ④生活支援の仕組みづくりのための人材発掘や担い手養成
- ⑤地域資源の魅せる化と既存資源の活用充実
- ⑥企業等による生活支援の取り組み推進



(2) 高齢者の生活支援の取り組み

- ①独居高齢者安否確認事業（弥栄）
 - * 毎月1回電話確認 71世帯
- ②高齢者安心・安全生活推進事業（弥栄）
 - ア) 電動車講習会
 - * 4/13（木）12名参加、9/28（木）6名参加 実技・講義
 - 杵束地区 まちづくりセンター駐車場、安城地区イベント広場
 - イ) 悪質商法撃退グラウンドゴルフ大会
 - * 5/19（金）38名参加 特殊詐欺被害防止講義・グラウンドゴルフ交流 弥栄町運動広場
- ③粗大ごみ搬出支援事業（弥栄）
 - * 11/19（日）5世帯
- ④歳末高齢者等支援事業（配食・友愛訪問・交流会）
 - 【浜田】地区民児協による歳末友愛訪問活動 1,249世帯
 - 【金城】12/27 手作り弁当配食・安否確認 90世帯
 - 【旭】12/27 おせち料理配食・安否確認 90食
 - 【弥栄】12/27 おせち料理配食・安否確認 104世帯
 - 【三隅】地区社協等による歳末友愛訪問活動等



(3) 浜田市地域包括支援センター事業（市委託事業）

- ①総合相談支援業務
高齢者の各種相談を幅広く受け付けて、制度横断的な支援を実施



②権利擁護業務

成年後見制度等の活用促進、高齢者虐待の疑いへの対応

③包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

ケアマネジャーへの日常的個別指導・相談や支援困難事例等への指導・助言

*相談受付状況（相談実件数）

高齢者福祉サービスに関すること	29 件
高齢者虐待（相談）に関すること	11 件
成年後見制度等に関すること	25 件
困難事例の相談	3 件
個別ケア会議	22 件
その他（在宅サービス・住まいや施設・その他）	792 件
合 計	882 件

*相談受付延件数

電話受付	来所相談・その他	合計
3,719 件	1,632 件	5,351 件

*相談対応延件数

電話	4,969 件	メール・FAX	312 件
訪問	2,101 件	合計	7,382 件

*会議等参加状況

・関係会議への出席状況 延 214 回（民児協・事業所運営会議他）

*職員の資質向上を目的とした研修受講

各種研修会 31 件に延べ 66 名参加

④介護予防ケアマネジメント業務

*介護予防支援事業所の運営

- ・市内居宅介護支援事業所との委託契約件数 34 事業所
- ・予防プランの取扱い：合計 9,718 プラン（月平均 810 プラン）
- ・委託事業所からのプランチェック件数 1,148 件

（４）その他の取り組み

①敬老事業

【浜田】浜田地区・長浜地区・周布地区社協敬老会

【金城】祝詞 米寿 43 名、白寿 4 名

【旭】祝詞 米寿 21 名、卒寿 19 名、百歳以上 1 名

【弥栄】祝詞 米寿 9 名、卒寿 17 名、白寿 3 名、百歳以上 1 名

【三隅】祝品・祝詞 米寿 60 名、卒寿 60 名、白寿 3 名、百歳以上 7 名



②一人暮らし高齢者交流会の開催

【金城】11/22 26 名（支援者含む） 古代出雲歴史博物館、出雲大社 他

【旭】 10/11 和田 6 名、10/12 坂本 7 名、10/16 木田 11 名、10/18 市木 7 名、

10/25 都川 5名、10/26 丸原 7名、10/27 今市 10名

浜田第2ダム見学、買い物支援ツアー

③高齢者サロン活動支援

ア) レク用具の貸出

イ) 有償・無償講師の照会・つなぎ

イ) 高齢者サロン運営相談支援（立ち上げ支援）

ウ) 高齢者サロン立ち上げ助成支援 30,000円×8件 (240,000円) (再掲)

エ) 高齢者サロンアンケート調査の実施と情報提供 (206サロン)

4. 子育て支援・児童青少年の健全育成を目的とした事業

(1) 児童青少年の健全育成事業

①ボランティアスクール開催事業（再掲）

【本所】8/1（火）全市小学生3年生以上29名、大人11名

浜田市総合福祉センター

*けん玉交流会 *災害時炊出し体験

*防犯教室「いかのおすし」

*ユニバーサルスポーツ交流



【旭】8/10（木）今市児童クラブ 31名、支援員・民生児童員 10名

今市児童クラブ・市役所旭支所

*炊き出し体験 *インドア・モルック交流体験

8/21（月）旭中学校 2年生15名、教員3名

市役所旭支所・あさひデイサービス

*研修「高齢者について」 *福祉施設体験

【金城】8/21（月）雲城まちづくりセンター・雲城児童クラブ53名、県大生2名

雲城まちづくりセンター

*災害時炊き出し体験 *起震車体験

【三隅】8/3（木）小学生等17人、保護者・スタッフ等大人14名

三隅まちづくりセンター

*炊き出し訓練、車いす介助体験、防災士の講和、救助・煙体験

【三保】8/26（土）小学生等26人、保護者・スタッフ等大人29名

三保まちづくりセンター

*防災への心構えについて、炊出し訓練

【黒沢】2/25（日）小学生等7人、保護者・スタッフ等大人10名

黒沢まちづくりセンター

*防災への心構えについて、炊出し訓練、放水体験、避難所体験

②青少年育成講座（みすみっ子集まれ・海で遊ぼうプロジェクト）の開催（三隅）

ア) みすみっ子集まれ

8/5（土）81名参加（子供50名、保護者31名）三隅まちづくりセンター

＊イベントをとおした親子一緒にふれあい・学び合い

イ）海で遊ぼうプロジェクト

7/15（土）28名参加（子ども17名、保護者等11名） 田ノ浦海岸

＊海の魅力・怖さを伝える講習会

＊ヨガ、サップ体験

③みすみ習字事業助成支援（三隅）

④中学校校長会支援事業（弁論大会）



（2）子育て支援事業

①子育てサロン・子育て広場の開催（各支所）

【浜田】子育て広場の開催（各地区）

＊開催回数 32回開催 延 390 名

【その他の支所】子育てサロンの開催（月1回）※三隅支所3か月に1回（年4回）

＊金城）延べ 94 名、旭）延べ 122 名、弥栄）延べ 16 名、三隅）延べ 59 名

②高齢者クラブとの交流（三隅）

＊畑づくり交流 6/20（火）親子延べ5組10名 高連延べ3名

＊さつま芋掘り 10/17（火）親子延べ7組14名 高連延べ3名

③チャイルドシート等貸出事業の実施

＊チャイルドシート 4 件

5. 障がい者支援事業

（1）聴覚障がい者の支援（市委託事業）

①浜田市手話通訳者等・要約筆記奉仕員派遣事業

＊手話 60 回（95 名派遣） ＊要約筆記 25 回（63 名派遣）

②浜田市専任通訳者設置事業

＊通訳業務 201 件

（手話：内 訪問 40 件、窓口 17 件、医療現場 39 件 他）

③浜田市手話奉仕員養成事業（入門編）

＊20 回開催 延べ 347 名

④手話通訳者・要約筆記奉仕員等研修事業

＊レベルアップ講座（手話） 5 回開催 延べ 47 名参加

＊レベルアップ講座（要約筆記） 5 回開催 延べ 35 名参加



（2）その他の事業

①あいサポート運動推進事業（ボランティア人材養成兼ねる）

＊19 回、581 名受講（H23～R5 年 3 月 延 285 回、8,319 名受講）

- ②入居債務保証支援事業（生活困窮者支援を兼ねる）

6. 高齢者・障がい者等の権利擁護事業

（1）法人後見受任事業

①法人後見運営委員会開催

- * 第1回 令和5年7月19日 8名出席
- * 第2回 令和6年3月14日 8名出席

②市民後見人講演会の開催

- * 令和5年9月10日 46名参加
- * テーマ「終活と後見制度～身寄りのない方を支援して」

講師 社会福祉士 渡利 勝信 氏

テーマ「支援員活動を通じての想い」

講師 法人後見支援員 丸田 保恵 氏

③市民後見人養成講座の開催 5回開催

- * 受講者及び修了者 10名

④市民後見人フォローアップ研修会

- * テーマ「みんなで考えよう！ケース検討会」

講師 ヴィレッジせいわ入所サービス課 的場 めぐみ 氏

⑤法人後見業務

- * 受任 13件（後見6名、保佐7名／新規1件、終了1件）
- * 相談・対応件数 851件



（2）日常生活自立支援事業（県社協委託事業）

①利用者の定例支援（及び支援調整）

- * 実利用者数 66名（新規7名、終了8名）
- * 福祉圏別件数 浜田47件、金城15件、旭1件、弥栄1件、三隅2件
- * 相談対応件数 2,788件

②生活支援員との連絡会・ケース検討会開催

- * 令和5年12月7日 11名出席

（3）浜田市地域包括支援センター事業（市委託事業）再掲

7. 生活困窮者の相談・支援事業

（1）生活困窮者自立促進支援事業（市委託事業）

①専任相談員 5名体制

（正規職員2名、嘱託職員2名、パート職員1名体制）

- * 新規相談件数 140件（継続相談者数延793名）
- * 相談実績（本人）2,688件、（関係機関）3,040件



②相談支援、法テラスとの連携

- ア) 自立相談支援（プラン決定 62 件、終結 19 件）
- イ) 家計改善支援（プラン決定 45 件、終結 21 件）
- ウ) 就労準備支援（プラン決定 1 件、終結 4 件）
- エ) 就労支援（プラン決定 16 件、終結 2 件）

③支援調整会議の開催

* 毎月開催（法テラス、ハローワーク、浜田市保護係相談員）

④住居確保給付金相談受付（相談件数 1 件）

⑤助っ人弁護士制度（相談件数 18 回、24 件）

（2）低所得者を対象とした資金貸付事業

①生活福祉資金貸付（県社協）に伴う業務 * 貸付件数 9 件

②民生融金貸付事業（上限 5 万円）

* 貸付 浜田支所 8 件、金城支所 1 件、三隅支所 1 件

* 償還 浜田支所 34 件、金城支所 7 件

③緊急現金貸付事業（上限 1 万円）

* 貸付 浜田支所 9 件、金城支所 3 件、三隅支所 6 件

* 償還 浜田支所 11 件、金城支所 2 件、三隅支所 12 件



（3）その他の支援

①フードバンク事業

ア) フードドライブ（一人一品運動） * 153 件 4,040 品

イ) 困窮者に対する食糧支援 * 133 件 4,700 品

②入居債務保証支援事業（障がい者支援を兼ねる）

* 新規 1 件 継続 2 件

③カセットコンロ・炊飯器等の貸出し

④通帳等預かりサービス



8. 福祉に関する調査・広報活動

（1）社協だよりの定期発行（隔月）

（2）社協ホームページの随時更新

①Facebook の社協ページの運用

②社協ブログの運用

（3）県内社協情報共有による情報発信

（4）はまだ市民福祉大会開催

期 日：令和 5 年 8 月 26 日（土）

会 場：浜田市総合福祉センター 会議室



内 容：式典（表彰式）

＊社協会長表彰：個人 13 名、10 団体

＊高連会長表彰：個人 8 名

＊当日参加者 43 名

（受賞者 22 名、来賓 6 名、主催団体役職員 12 名、一般 3 名）

（５）浜田社協未来塾（H S M）の活動推進

①内容

ア）イベント参加 すくすくこどもまつり（10/28）

周布子育て広場カフェ（3/14）

イ）未来塾会議開催 5/31（水）、7/7（金）、8/1（火）、9/1（金）



（６）支所だよりの発行（ボランティア情報誌兼ねる）

（７）住民座談会の開催（旭・弥栄）（再掲）

９．その他の福祉サービス・活動

（１）交流拠点（ふれあいハウス利用貸出・管理）設置事業（弥栄）

（２）浜田市戦没者追悼式の開催（市委託事業）

期 日：令和５年９月２日（土）

会 場：浜田市総合福祉センター 会議室

参列者：78 名



（３）家族介護者交流事業（市委託事業）（弥栄を除く各支所で年間２回催）

【浜田】＊第１回 グラスアート体験&ユニバーサルスポーツ交流 9/7（木）（9 名参加）

＊第２回 花の寄せ植え体験交流 3/7（木）（10 名参加）

【金城】＊第１回 気功法（八段錦）、中国茶・八宝茶 7/11（火）（19 名参加）

＊第２回 吉原木工所 工場見学・ワークショップ、海蔵山 龍雲寺
住職の講話・会食・散策 2/28（水）（21 名）

【旭】＊介護者サロン開催 ４月から３月まで計８回（延べ 44 名）

＊第１回 ボディケア体験・モノづくり 9/20（水）（10 名参加）

＊第２回 いちご狩り・会食・買い物 2/7（水）（13 名参加）

【三隅】＊第１回 リラクゼーションハンドトリートメント・会食・情報交換
2/22（木）（10 名参加）

（４）浜田市中高年ひきこもり支援事業(市委託事業)

①相談・訪問支援 122 件、居場所・活動支援 14 件、会議への参加・広報活動 157 件

②他機関との連携によるチーム支援



(5) 生活支援サービス

①福祉用具貸出事業（車椅子等）※介護保険認定者は不可

*車いすの貸出 36 件（浜田 29 件、金城 3 件、旭 3 件、弥栄 1 件）

(6) 総合相談事業

①心配ごと相談所（金城・旭・弥栄・三隅）、総合相談所（浜田）開設

【浜田】開設 24 回 相談 2 件 【金城】開設 12 回 相談 8 件

【旭】開設 12 回 相談 13 件 【弥栄】開設 12 回 相談 0 件

【三隅】開設 12 回 相談 0 件

②法律相談所設置（浜田を除く各支所を毎月順番に開催：8 回）

【金城】開設 2 回 相談 7 件 【旭】開設 2 回 相談 4 件

【弥栄】開設 2 回 相談 0 件 【三隅】開設 2 回 相談 0 件

(7) 福祉バス運行事業（車両 1 台体制）実施

*運行状況 127 回 1,855 名

(8) 来て見てなんでも作品展【金城】

サロン、趣味・愛好家や保育園等団体の手作り作品を展示

*10 月 15 日（日）～20 日（金）開催

*来場者：住民全般 275 名



第 4 次地域福祉活動計画

活動目標 6 「社会福祉法人連携による公益的な活動の推進」

すべての社会福祉法人は地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動を行わなければならないとされており、浜田市においても各法人間の連携のもと進めます。法人連携による相談窓口の実施による地域住民との顔の見える関係性を構築するとともに、受け付けた相談対応について随時検証し、研修会等を重ねながら取り組みを進めています。

(8) 浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会の取り組み支援

* 監査会開催（4/15） * 正副会長会開催（5/9、1/31） * 定期総会開催（5/25）

* よつば相談窓口設置による分野を超えた連携の強化

* 第1回 担当者会議（7/28）事業報告・事業計画について

* 研修会（12/21）災害時における対応と日頃からの備え

講師 島根県介護福祉士会 会長 山本 克哉 氏

* 第2回 担当者会議（3/5）振り返りと事業計画について



第4次地域福祉活動計画

活動目標3 「総合的・包括的な相談・支援体制に向けて」

活動目標7 「重層的な相談支援の体制・仕組みをつくる」

地域と行政や専門機関とをつなぐ接点をつくり、分野を超えて包括的な相談体制・支援体制を構築して行くことが必要であり、その仕組みについては関係機関との協議と合意形成が必要です。町内会・自治会・地区社協・まちづくり推進委員会等とのネットワーク構築に向け、情報共有・協議の場の提供に取り組めます。

(9) 浜田市との連携会議の開催

- ①健康福祉部との総合的・包括的な相談支援体制の構築に向けた協議
- ②地域政策部、教育委員会との連携について

(10) 社協内連携の推進

- ①地域福祉・生活福祉・介護福祉・包括支援センター連携会議の開催
 - ア) 事業内容の共有
 - イ) 事例検討から個別課題と地域課題の一体化によるしくみづくりの検討
- ②全部署を対象とした課題解決のための研修会

10. 福祉関係団体・当事者団体支援

(1) 島根県共同募金会浜田市共同募金委員会事務局

- ①共同募金運動の実施
- ②共同募金助成事務

(2) 日本赤十字社島根県支部浜田市地区事務局

- ①赤十字運動月間 統一キャンペーンの事業開催
- ②赤十字奉仕団の支援と連携



(3) 福祉関係団体支援

- ①浜田市民生児童委員協議会事務局支援・助成支援
 - ア) 単位民生児童委員協議会事務局支援・助成支援（金城・旭・弥栄・三隅）
- ②浜田市高齢者クラブ連合会事務局支援・助成支援
 - ア) 高齢者クラブ連合会支部事務局支援・助成支援（金城・旭・弥栄・三隅）
- ③浜田市身体障害者福祉協会事務局支援・助成支援
 - ア) 浜田市身体障害者福祉協会支部事務局支援・助成支援
- ④浜田市手をつなぐ育成会金城支部助成支援



(4) 関係団体支援

- ①保護司会助成支援（金城）
- ②少年補導委員会助成支援（金城）

(5) 当事者団体支援

- ①ことばを育てる親の会助成支援（三隅）
- ②一人暮らし高齢者の会事務局支援・助成支援（弥栄・三隅）
- ③しまね分かち合いの会（自死遺族の会）支援

11. 公共施設管理運営事業（浜田市指定管理）

(1) 指定管理施設の運営

- ①浜田市総合福祉センター管理運営
- ②浜田市金城高齢者生活福祉センター管理運営

12. 介護保険事業等経営

(1) 介護保険・障がい福祉サービスの提供

- ①訪問介護の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ②訪問入浴介護の実施（浜田）
- ③通所介護の実施（浜田・三隅）
※三隅デイサービスセンター令和5年度より無償譲渡
- ④障がい福祉サービスの実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ⑤共生型サービスの実施（浜田通所）

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の提供

- ①介護予防訪問介護（従来型）の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ②介護予防通所介護（従来型）の実施（浜田・三隅）
- ③訪問型サービスA（緩和型）の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））
- ④通所型サービスA2（緩和型）の実施（浜田（新）・金城）

(3) 介護保険制度外サービスの提供

- ①訪問自費サービス事業の実施（1事業所・2サテライト（金城・三隅））
- ②お持ち帰り弁当事業の実施（浜田・三隅）

(4) 市受託事業の提供

- ①移動支援事業の実施（1事業所（浜田）・2サテライト（金城・三隅））

(5) 介護保険事業等の状況分析及び改善に向けての対応

- ①事業として必要とする介護人材の確保

(6) 法人内他部門との連携

- ①地域における高齢者サロン活動等の出前講座への協力



13. 財政基盤の強化

(1) 会員募集による自主財源の確保

- ①人口・世帯数の減少や物価高騰の影響もあり、全体的に減少

ア) 社協会員 12,974,820 円 (前年度比 2.4%減)

イ) 賛助会員 1,495,000 円 (前年度比 10.3%減)

ウ) 特別会員 1,011,000 円 (前年度比 0.2%減)

エ) ふるさと会員 137,000 円 (前年度比 6.2%減)

- ②行政連絡員会議や地域協議会等へ社協事業説明強化 (各福祉圏で実施)

- ③浜田市と島根県立大学の会費増収に向けた研究結果の活用

※アンケート回答 (未回収あり) 情報を共有し、次年度へ向けて課題検討

(2) 効率的な事業推進と経営改善

- ①経営等改善計画に基づく改善推進及び検証等 (事業報告等に基づき検証)

- ②職員内部による事業・事務改善・効率化検討

※計 5 回内部検討会議開催

※周知・説明等行いながら、今年度 (随時) 又は次年度 (計画) 対応

- ③業務体制に対する適正人員配置

※現状の人員で、できる限りの対応を常に検討

- ④新たな自主財源確保に向けた取り組み

ア) 寄附付き自動販売機の設置 (総合福祉センター)

イ) アルミ缶等リサイクルプロジェクトの推進 (全支所取り組み)

(3) その他の取り組み

- ①福祉基金を財源とする運用財源の確保 (キャッシュフロー対応)

※年度当初に福祉基金取崩し対応

- ②国・他団体等の助成事業の活用に向けた情報収集 (随時)

14. 職員体制の整備と資質向上

(1) 業務状況を見据えた人材確保

①地域包括支援センター事業等必要とする専門職の確保

○採用試験 令和5年11月5日(日)【教養・作文・面接試験】

- ・保健師又は看護師 1名応募(募集人員 1名) 採用1名
- ・主任介護支援専門員 1名応募(募集人員 1名) 採用1名
- ・社会福祉士 1名応募(募集人員 1名) 採用1名
- ・事務・事業職員 2名応募(募集人員 2名) 採用1名

○採用試験【追加】 令和6年1月14日(日)【教養・作文・面接試験】

- ・主任介護支援専門員 0名応募(募集人員 若干名)
- ・社会福祉士 0名応募(募集人員 若干名)
- ・事務・事業職員 1名応募(募集人員 1名) 採用1名

(2) 職員の資格取得の促進(助成要綱の周知等)

①介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、看護師等

※助成申請なし

(3) 職員研修体系に基づく計画的な研修の実施

①人権同和・メンタルヘルス研修(DVD視聴)、ハラスメント研修(島根県労働委員会より講師派遣)

②専門的知識・意識向上の研修参加(随時)

(4) ヒヤリハット報告、事故報告に基づく検証と業務改善に向けた周知徹底

①苦情受付 3件

事業	状況
地域包括支援センター事業	急変時の利用者対応の改善、担当介護支援専門員の交代。 ※申出人に対しては、苦情の受け止めについて説明し、担当介護支援専門員の交代は手続きを進めた。
地域包括支援センター事業	予防プラン作成に伴う引継ぎに関し、情報提供が十分でない。 包括日常業務に関する書類などは、包括職員不在時でも他の職員が対応するようにすべき。 緊急連絡を取ってほしいと依頼しても半日以上連絡がつかない状況について、改善対応してほしい。 ※申出人に対し、文書により謝罪及び改善対応を報告。
地域包括支援センター事業	認知症状が疑われる利用者への訪問で、介護支援専門員だけでは警戒される可能性があることで、地域包括支援センター職員の同行を依頼され、訪問時に地域包括支援センターから利用者へ介護支援専門員を紹介してほしいと予め依頼をされていたが、地域包括支援センター職員から介護支援専門員を紹介されたのは訪問後30分を過ぎた時点であった。 最初の紹介で警戒心を和らげ、介護支援専門員からサービスや支援内容について話をしたかったが、それが為されなかった。 ※訪問時、家に入る前に外で草取りをされていた利用者と出会い、そ

	の時介護支援専門員と同行したことを伝えたことで紹介したと思 い込んでいた。その後、地域包括支援センターとしての問題として 捉え、内部で対応の振り返りと改善について話し合いを行い、介護 支援専門員へ謝罪と対応及び改善内容について報告。
--	---

②ヒヤリハット報告 5件

事業	状況
地域包括支援センター事業	国保連への請求で、別の事業所名で請求したことで返戻となった。 ※謝罪し、翌月請求で対応。
通所介護事業	利用者の昼食に手袋の切れ端が混入していた。職員が気づき、利用者へ 確認を行い、避けられて食事をされていた。 ※色付き手袋の着用や随時、指先確認を行う等対応共有。
	利用者がイスに掛けていた他利用者の衣服を着て帰った。 ※入浴時や体温調整時の脱衣の際に、常にアンテナを張るように職員 で共有。
	アレルギー食材を間違えて提供したが、食べられなかったため大事に至 らなかった。 ※特に慎重に対応することを共有し、器を変えるなど、誰もが分かる ように改善。
	前日に金たわしでざるを洗浄して保管庫に入れ、翌日出勤した者が確認 せずそのまま使用したことで、ざるについていた金たわしの破片がおか ずの中に入っていた。 ※食事を提供する前に破片見つけたため、市販弁当を購入し食事を提 供。内部で改善対応を確認し、他通所介護事業へも共有、

※ヒヤリハットについては、随時及びミーティング等で情報共有し、今後の対応を講ずる

③労働災害 1件

事業	状況
法人運営・地域福祉・生活福祉事業	公用車から降りて、事務所へ戻る途中に駐車場から降りる階段が凍結 していたため、滑って転倒する際右手をつき、手首を骨折した。

④介護等事故 3件

事業	状況
通所介護事業	利用者が入浴時、浴槽の階段を手すりを使いながら上がる際、職員が 上がり湯をかけるためにシャワーを取りに行った時、手すりから手が 離れて仰向けに転倒。頭頂部の痛みと左肩の痛みを訴えられ、病院へ 受診。骨折や頭部内の出血はなく、その後の体調は大丈夫であった。 (本会加入保険で対応)
	利用者がトイレに行こうと立ち上がり、移動する時ふらつき、近くの イスの背もたれをつかもうとしたがつかみ損ね転倒。隣席のイスの座 面横で後頭部を打撲。病院へ受診し、頭部内出血や骨折なく、経過観 察で特に異常はなかった。(本会加入保険で対応)

	利用者がデイルーム内通路でイスに座って折り紙をしていたが、机に戻ろうと立ち上がった時にふらつき転倒。左側頭部にたんこぶができ、痛みもあり病院へ受診し、頭部内出血・骨折等はなく、右大腿部に内出血を確認。その後経過観察で特に異常なし。(本会加入保険対応)
--	---

⑤車輛事故 13 件

事業	状況
法人運営・地域福祉・生活福祉事業	利用者宅へ行く途中に対向車が来たため、バックしたところ柵に接触し、左側後方バンパー等破損。(本会加入保険対応)
	身障協会員の葬儀に対し、香料持参のため葬儀場へ駐車しようとしたところ、車止めに当たらずバックして柵に接触。左側テールランプ部分破損。(本会加入保険で対応)
訪問介護事業	訪問先車庫内へバックで駐車しようとしたところ、車庫内にあるタイヤに後部バンパー部分接触 (本会加入保険対応)
	市民ふれあい広場に駐車して利用者宅へ訪問していた時に、駐車場でバックをしていた車輛が前方部分に接触。(相手より連絡、相手加入保険対応)
	利用者訪問後、駐車場から出ようと前進したら、車止めに気付かず乗り上げ、車止めの一部が破損。(直行直帰型車輛であるため、職員加入保険で対応)
	利用者宅へ向かう途中、交差点を右折しようとしたら左側から走ってきた自転車と衝突。(本人及び相手の仕事先へ謝罪し、直行直帰型車両のため職員加入保険及び本会会計で対応)
地域包括支援センター	利用者宅へ訪問する際、道路から侵入した時に歩道縁石に乗り上げ、左前輪ホイールが変形。(本会修繕費対応)
	利用者宅から帰る時に左側後輪タイヤが縁石に接触しタイヤ破損。(本会加入保険対応)
通所介護事業	利用者宅で方向転換をする際に、右側前バンパー部分接触。(本会所有車輛で、大きな損傷でなく修理見送り)
	利用者宅付近の細い橋に侵入する際、左側前部分接触。(本会加入保険で対応)
	利用者宅付近の細い橋に侵入する際、左側前部分接触。(本会加入保険で対応) ※別日同じ場所で
	利用者宅へ送り、近くの駐車場で方向転換をして出る際に、左側後方バンパーが法面に接触。(本会加入保険で対応)
	利用者を送り、バックで市道へ出る際、通路横コンクリート塀に左側フロントバンパー接触。(本会加入保険で対応)

⑥その他 1件

事業	状況
地域福祉事業	一人暮らし高齢者に対する事業で市外へ出かけ、自由行動後、集合時間に戻られない方がおられ、一時行方不明の状況となった。 事業の行程に支障をきたすため、職員1名と添乗員1名が残り、警察に捜索をお願いするなどしたが、捜索前に出会うことができた。

(5) 職員の心身・健康増進に向けた取り組み

①専門家（カウンセリング、産業保健総合支援センター等）のサポート促進

※該当なし

②ストレスチェックの実施

※令和6年2月にアンケートによるストレスチェックを行い、結果状況を職員へフィードバック

(6) その他

①一般事業主行動計画実現に向けた職員体制

ア) 週1日の「ノー残業デイ」の継続及び有給休暇取得促進

※朝礼等での呼びかけ及び有給休暇取得状況を確認しながら、該当職員全員法律に定める5日以上取得

イ) 仕事と生活（育児や介護）・医療との両立ができるよう職場環境の整備

※職員1名産前休暇、職員1名育児休暇取得

②様々な情報を発信し、内容の共有及び意識統一

※メールによる情報共有等（簡易的な共有方法を内部で検討）

③働きやすい職場環境の整備

※電波状況が悪い部署へWi-Fi対応

15. 組織の充実

(1) 会議の開催

①正副会長会の開催（4回）

②理事会（5回）、評議員会（3回）の開催

③監査会の開催（監査会2回、内部監査2回）

④部会の開催（法人運営部会2回、地域福祉部会2回、介護福祉部会2回）

⑤委員会の開催（地域福祉活動助成金審査会2回、VC運営委員会2回、法人後見運営委員会2回）

⑥各福祉圏福祉のまちづくり推進会議の開催（各福祉圏2～3回）

⑦内部会議の開催（企画調整会議、係長会議【定例又は随時開催】）